

一地域における橋およびその周辺環境の現地調査

信州大学工学部 ○杉田 兼士
 信州大学大学院 学生員 山本 太郎
 信州大学工学部 正会員 清水 茂

1. はじめに

橋はそれぞれの地域においてその時々、社会的要請があって架設されるものであり、橋の文化や歴史はその地域の文化や歴史と深い関係がある。ここで、橋の文化とは、我々の日常生活や経済活動に欠かすことのできない交通や流通といった橋本来の「通行」という文化の他に、橋が地形的または社会的にどのような環境のもとで存在し、そこにどのような橋が架かっているのか、といった地域景観の中でみた橋の文化も含まれている。さらに橋には、単に通行というだけでなく、立ち止まって周辺の風景を眺める、あるいは散歩の途中で休む、出会った近所の人とおしゃべりをする等、小さなコミュニケーションの場としての文化ももちあわせている。

そこで本研究では、実際に現地へ赴いて得られた橋の周辺環境に関する情報と、色や形といった橋自身に関する情報をもとに、今現在の橋の文化、つまり、橋とその周辺環境の関係について明らかにしようとするものである。

なお、研究に先立ち、今回は長野県を代表する河川である千曲川に架かる橋を一つの例としてとり挙げる。

2. 現地調査

①調査方法 調査は、図-1に示すように千曲川の源流から信濃川とその名を変える新潟県境まで、すでに供用開始となっている道路橋（歩道橋含む）全てについて行った。本研究の目的は、今現在の橋とその周辺環境の関係について明らかにすることであり、現地調査においては橋が地形的、または社会的にどのような環境のもとで存在しているのかという情報を得ることに重点がおかれる。そこで現地ではカメラを用いて橋の様子はもちろん、橋のもつ空間に設けられた公園、バルコニー等のコミュニケーション施設の様子や橋から見た周辺環境の様子、さらに、いくつかの場所から見た橋のある風景について写真に収めた。また、橋の構造特性（橋長、幅員、竣工年等）のうち橋長、幅員については主に各市町村で発行されている広報等で調べ、部分的に現地で実測をした。

②調査結果 調査の結果、現在千曲川流域には8市10町8村が存在し、歩道橋2橋を含む93橋の道路橋が架かっていることがわかった。これより、調査して得られた情報の例として図-1示す住吉橋と村山橋について紹介する。

(1) 住吉橋

写真-1に示す住吉橋は橋長168.0m（5径間）、幅員12.0mの桁橋で、星の町として有名な地に架設されることから天の川をイメージして平成2年に竣工した比較的最近の橋である。そのため高欄には十二の星座パネルが装飾され、実際に現地を訪れた時には、学校帰りの小学生がそれを見て友達と楽しそうに話している

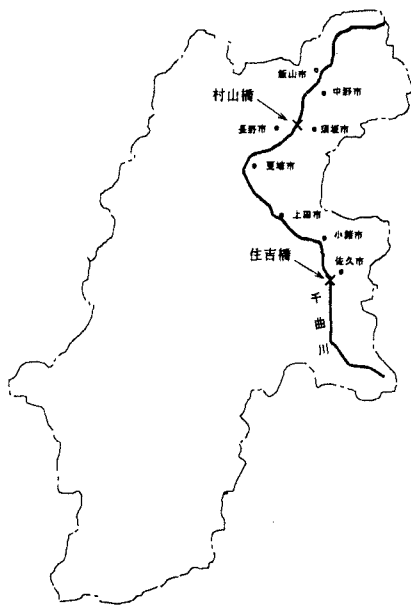


図-1 千曲川流域の概要

光景に遭遇した。また、コミュニケーション施設として橋上にはバルコニーとベンチが設けられ、橋のたもとは写真-2のように公園も存在し、そこには植栽やベンチ、公衆電話が存在していた。橋のある環境は地形的に兩岸とも平地であり、橋の右岸側では住宅地が発達し、駅も近くに存在するが、左岸側では農地が広がり、住宅地は橋から離れるにつれて増える傾向にあるといった様子である。

(2) 村山橋

写真-3, 4に示す村山橋は大正15年に架設された橋長814.2m(42径間)、幅員5.5mのトラス橋+桁橋であり、全国的にも数少ない鉄道と道路の併用橋である。橋のある兩岸は地形的に平地で、左岸には長野市、右岸には須坂市が控えている。兩岸とも橋に通じる道路沿いや駅周辺で住宅地が発達しているものの、橋に近いところでは農地が多く見られる。橋は古くから兩岸の市街地を結ぶ交通路として重要な役割を担ってきたが、通行車両の大型化した現在では幅員が狭く、歩行者や自転車での通行は非常に危険な状況にある。そのためか実際に橋を利用する歩行者や自転車の姿はほとんどなく、橋を利用する形態に偏りがあるようである。なお、この橋は現在架け替え工事が行われている。

3. 情報の整理

現地調査で得られた橋およびその周辺環境に関する情報は膨大であり、これらの情報を体系的にまとめるため、情報の整理をウェブ上で行うことにした。ウェブには構造形式や周辺環境等いくつかの項目についてそれぞれグループ分けしたものを載せ、現地に行かないと得られない視覚的情報を中心に、現地で撮った写真を用いて広く公開するものである。現段階ではこれを作成中であり、詳細については当日発表する。

4. おわりに

橋とその周辺環境の関係に対する橋の構造特性や、地形的または社会的な橋のある周辺環境等に関する総括的な考察は当日発表する。

Address :

<http://www.shims.shinshu-u.ac.jp/sugi/index.html>

【参考文献】

- 1) 各市町村広報
- 2) 長野県教育委員会：歴史の道調査報告書 千曲川
- 3) 国土地理院：1:25000地形図



写真-1. 住吉橋



写真-2. 公園の様子



写真-3. 村山橋



写真-4. 村山橋の様子